

2023年3月30日

# やまぎん企業景況サーベイ

## (2023年1-3月)

～製造業は悪化、非製造業は良化し、景況感は全体では横ばい～

「やまぎん企業景況サーベイ」は、企業の景況感を明らかにすることを目的に、山形県内に本社および事業所を有する企業を対象として四半期ごとに実施している調査です。

### 【調査要領】

対象期間 2023年1-3月  
調査期間 2023年2月1日～22日  
有効回答数 495社/600社（回答率 82.5%）

### 【調査方法】

山形銀行本支店を通じアンケート用紙を配布・回収、もしくはオンライン回答による。

### 【集計・分析方法】

県内企業の業況、生産・販売等の状況は、「BSI (Business Survey Index)」を用いて表します。

#### ①業況判断 BSI <前年同期比>

前年(2022年1-3月)に比べ業況が「良化する」企業の割合 - 「悪化する」企業の割合

#### ②売上高 BSI <前年同期比>

前年(2022年1-3月)に比べ売上高が「増加する」企業の割合 - 「減少する」企業の割合

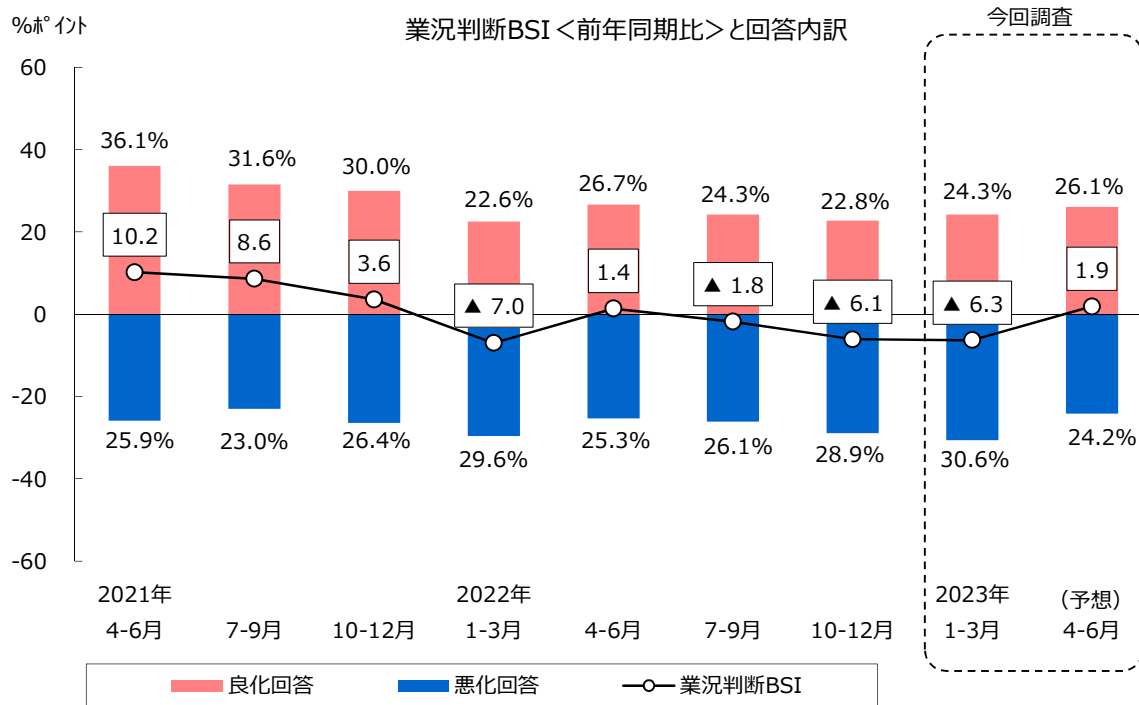
#### ③雇用判断 BSI

従業員数の水準について「多い」とする企業の割合 - 「少ない」とする企業の割合

やまぎん情報開発研究所  
(山形銀行 営業支援部)

# 1. 業況判断 B S I <前年同期比>

～製造業を中心に、小幅ながら3期連続で低下～



## (1) 全産業ベースの動向

業況判断 BSI<前年同期比><前年同期(2022年1-3月)に比べ業況が「良化する」企業の割合<「悪化する」企業の割合>は、前回調査(2022年10-12月)に比べて-0.2ポイントの▲6.3となり、全体では横ばいに近い動きとなった。これは、前回調査時点の予想と同水準である。回答内訳をみると、良化回答、悪化回答ともに前回は上昇しており、二極化傾向となった。国内第8波となる感染拡大が収束方向となり、コロナ禍からの経済正常化の動きが強まっていることや、各種コスト上昇分の価格転嫁が一定程度進展したことなどを好感する動きと、依然として収益を圧迫しているエネルギー価格・原材料価格の高騰や、海外経済の減速をうけた受注伸び悩みに対する懸念が交錯している様子がうかがえる。

こうしたなか、2023年4-6月の予想は、今回調査比+8.2ポイントと大きく上昇し、1.9となる見通し。1年ぶりの上昇で、水準としても1年ぶりに「良化超」に復帰することになる。

## (2) 業種別の動向

以下では、業種別のBSI水準に応じて下表のような天気マークを用いて表現した。

BSIの値	マーク
50以上	晴れ
15以上50未満	曇り一部晴れ
▲15超15未満	曇り
▲50超▲15以下	曇り一部雨
▲50以下	雨

業種	2022年					2023年		2023年 (予想)	
	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	前回比	4-6月	今回比
全産業	3.6	▲7.0	1.4	▲1.8	▲6.1	▲6.3	-0.2	1.9	+8.2

### ① 製造業

業況判断 BSI<前年同期比>を業種別にみると、製造業は前环比-4.5 ポイントの▲6.3 となった。これは6期連続の低下で、水準としては2期連続で「悪化超」となっている。ただし、前回調査時点の予想(▲9.4)からやや上方修正されている。内訳をみると、9業種のうち4業種が上昇、5業種が低下と、業種により二分される動きとなった。

**食料品・飲料** 経済正常化に向けた動きが強まるなかで、前年比では飲食店向けの需要増が期待されることなどから、3期ぶりに上昇。

**繊維・衣服** 百貨店販売の持ち直しなどから春夏物の受注が増加し、BSIは再び上昇し3期連続で「良化超」を維持。

**木材・家具** 原材料価格等の高騰が続くなかで、

BSIは3期連続で低下し、全業種中最も低水準に。

**窯業・土石** 工期の後ずれ等から前年比で出荷増となる動きもみられ、3期ぶりに上昇。

**鉄鋼・金属** BSIは「良化超」の水準を維持しているものの、半導体製造装置向け部品等の受注減などから、前环比では大きく低下。

**電気機械** BSIは前环比で上昇したものの、良化回答割合はむしろ低下しており、電子部品を中心に先行き懸念が強まっている状況。



























































































**一般機械** 半導体製造装置関連需要の減退などから、BSIは8期ぶりに「悪化超」に転じた。

**輸送機械** 前环比ではBSIは低下したが、良化回答割合と悪化回答割合がともに上昇するなど、受注動向のバラツキが大きい。

**その他製造業** 原材料価格等の高騰が続くなかで、印刷業を中心に再び低下した。

業種別の業況判断BSI<前年同期比>

(予想)

業種	時期	2021年					2022年		2023年	
		10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	前环比	4-6月	今环比
製造業		 17.6	 4.7	 4.2	 1.8	 ▲ 1.8	 ▲ 6.3	 -4.5	 5.5	 +11.8
食料品・飲料		 ▲ 5.3	 ▲ 17.3	 0.0	 0.0	 ▲ 15.4	 0.0	 +15.4	 28.9	 +28.9
繊維・衣服		 38.4	 ▲ 20.0	 ▲ 15.4	 23.1	 16.7	 33.3	 +16.6	 33.3	 ±0.0
木材・家具		 41.6	 0.0	 42.8	 7.7	 ▲ 20.0	 ▲ 28.6	 -8.6	 ▲ 28.6	 ±0.0
窯業・土石		 0.0	 ▲ 33.3	 10.0	 ▲ 10.0	 ▲ 20.0	 10.0	 +30.0	 ▲ 10.0	 -20.0
鉄鋼・金属		 47.4	 9.1	 ▲ 11.7	 41.2	 47.6	 18.2	 -29.4	 9.5	 -8.7
電気機械		 11.6	 11.5	 ▲ 7.1	 ▲ 3.5	 ▲ 10.3	 ▲ 8.0	 +2.3	 ▲ 16.0	 -8.0
一般機械		 28.8	 24.3	 17.8	 4.1	 2.3	 ▲ 23.7	 -26.0	 ▲ 5.6	 +18.1
輸送機械		 0.0	 33.4	 12.5	 7.7	 7.2	 0.0	 -7.2	 21.5	 +21.5
その他製造業		 10.0	 0.0	 ▲ 6.4	 ▲ 25.0	 ▲ 13.8	 ▲ 21.2	 -7.4	 6.3	 +27.5

2023年4-6月の予想については、今回調査比+11.8ポイントの5.5で、実現すれば7期ぶりの上昇となる見通しである。

## ② 非製造業

非製造業は前环比+3.1ポイントの▲6.3で、7期連続で「悪化超」の水準にあるものの、3期ぶりに上昇に転じた。ただし、前回調査時点における予想(▲4.0)からはやや下方修正となっている。前年と比較して降雪量が少なかったことをうけて、除雪等の冬季特有の売上が減少したことなどが影響したものとみられる。内訳をみると、前环比では6業種のうち上昇は2業種にとどまり、4業種が低下した。

**建設業・不動産業** 建設価格の上昇から厳しい受注環境が続くなか、省エネ補助金対象工事を新たに確保する企業もみられたことから、BSIは低水準ながら2期ぶりに上昇。

**運輸業** 旅客輸送の持ち直しをうけて、BSIは「良化超」を維持しているものの、貨物輸送の弱含みなどから前环比では2期ぶりに低下。

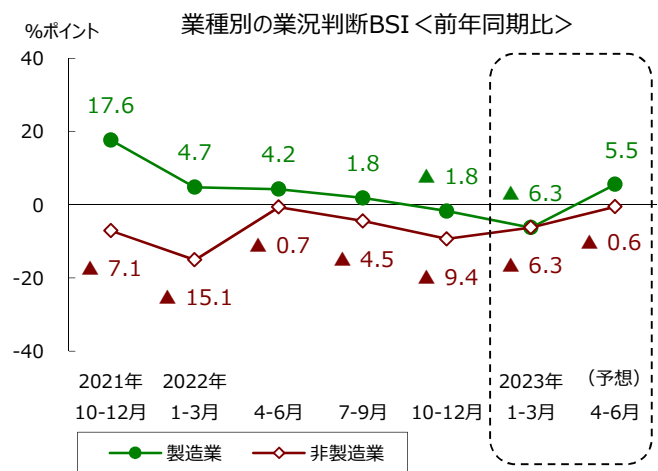
**卸売業** 価格転嫁が一定程度進展したことなどから、3期ぶりに大きく上昇した。

**小売業** 自動車ディーラー等で良化回答割合が上昇する半面、燃料小売等を中心に悪化回答割合も上昇し、全体では小幅な低下となった。

**旅館・ホテル、飲食業** 前环比では低下したが、水際対策の緩和や「全国旅行支援」の継続等による需要回復を背景に、BSIは高水準を維持。

**サービス業・その他** 人手不足による受注減がみられる企業もあり、2期連続で低下し、4期ぶりに「悪化超」に転じた。

2023年4-6月の予想については、今回調査比+5.7ポイントの▲0.6で、「悪化超」ながら2期連続の上昇が見込まれている。



業種別の業況判断BSI<前年同期比>

(予想)

業種	時期	2022年					2023年		今回	
		2021年 10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	前环比	4-6月	今回比
非製造業		▲ 7.1	▲ 15.1	▲ 0.7	▲ 4.5	▲ 9.4	▲ 6.3	+3.1	▲ 0.6	+5.7
建設業・不動産業		2.3	▲ 6.7	▲ 12.2	▲ 11.5	▲ 27.5	▲ 22.5	+5.0	▲ 2.2	+20.3
運輸業		▲ 12.5	▲ 21.4	15.8	11.1	23.6	13.3	-10.3	26.6	+13.3
卸売業		▲ 11.3	▲ 18.7	5.8	▲ 12.3	▲ 14.1	7.2	+21.3	1.4	-5.8
小売業		▲ 28.6	▲ 35.0	▲ 19.6	▲ 20.4	▲ 9.3	▲ 9.8	-0.5	▲ 11.8	-2.0
旅館・ホテル、飲食業		▲ 33.3	0.0	50.0	40.0	46.7	40.0	-6.7	26.7	-13.3
サービス業・その他		14.7	▲ 7.9	6.8	10.8	2.1	▲ 12.5	-14.6	▲ 6.2	+6.3

### (3) 地区別の動向

業況判断BSI<前年同期比>を地区別にみると、西部地区が5.0、庄内地区が▲2.5、置賜地区が▲3.3、山形地区が▲6.8、北部地区が▲17.6の順になり、前回比では北部地区のみが低下し、他の4地区はすべて上昇した。

地区別の内訳

地区	市町村
山形地区	山形市、上山市
置賜地区	米沢市、長井市、南陽市、高畠町、川西町、小国町、白鷹町、飯豊町
西部地区	寒河江市、山辺町、中山町、河北町、西川町、朝日町、大江町
北部地区	村山市、天童市、東根市、尾花沢市、大石田町、新庄市、金山町、最上町、舟形町、真室川町、大蔵村、鮭川村、戸沢村
庄内地区	鶴岡市、酒田市、庄内町、三川町、遊佐町

#### ① 山形地区

前回比+2.1ポイントの▲6.8で、2期ぶりに上昇。製造業は低下したものの、非製造業が卸売業を中心に上昇した。

#### ② 置賜地区

前回比+0.6ポイントの▲3.3となり、小幅ながら2期連続で上昇。非製造業が3期連続で悪化する一方、製造業が食料品、電気機械を中心に2期連続で上昇し、全体を押し上げた。

#### ③ 西部地区

前回比+19.5ポイントと大きく上昇し、5.0と唯一「良化超」となった。製造業では食料品・飲料、繊維などの内需関連業種が、非製造業では建設業・不動産業の改善が目立った。

#### ④ 北部地区














































前回比-15.7ポイントの▲17.6で、6期連続で低下し、2021年1-3月(▲24.7)以来の低水準となった。底堅く推移してきた製造業において、鉄鋼・金属、電気機械、一般機械、輸送機械などがいずれも足もと大きく低下した。

#### ⑤ 庄内地区

前回比+1.0ポイントの▲2.5となり、2期ぶりに上昇。製造業は低下したものの、非製造業が卸売業、小売業を中心に上昇した。

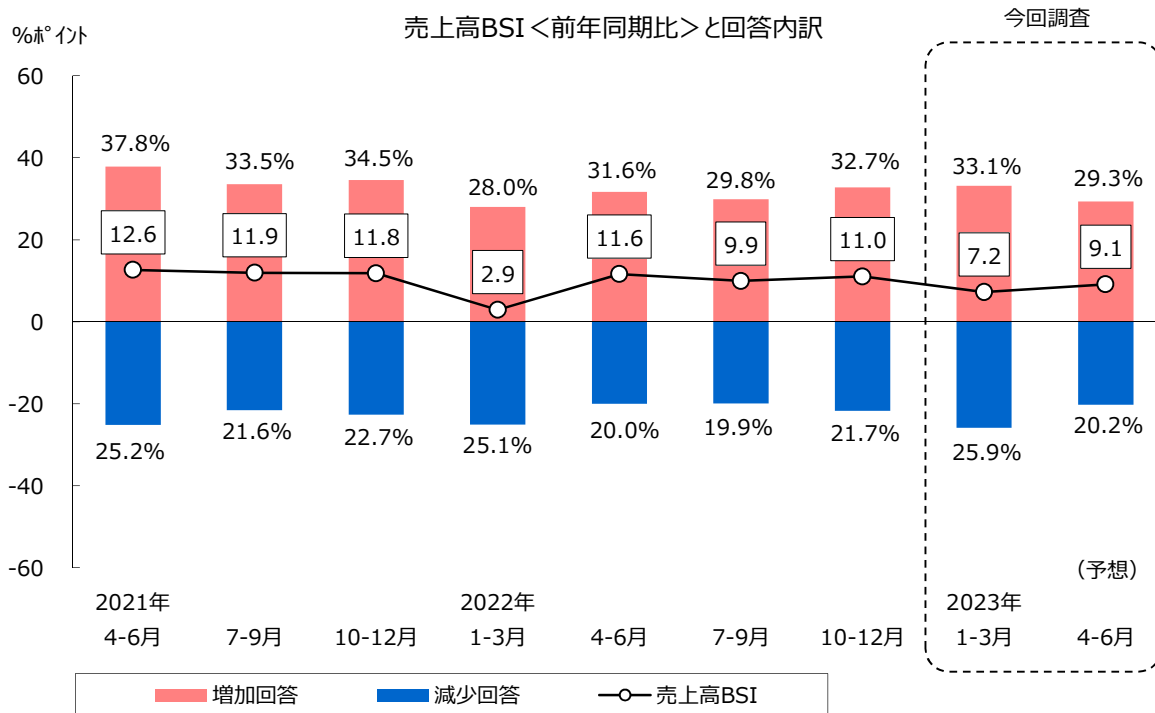
地区別の業況判断BSI<前年同期比>

(予想)

地区	時期	2021年					2022年		2023年	
		10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	前回比	4-6月	今回比
山形地区										
		2.9	▲ 15.1	▲ 0.6	▲ 7.2	▲ 8.9	▲ 6.8	+2.1	1.3	+8.1
	製造業	2.1	▲ 14.3	3.7	▲ 10.3	▲ 12.3	▲ 15.4	-3.1	2.0	+17.4
非製造業	3.3	▲ 15.5	▲ 2.6	▲ 5.7	▲ 7.3	▲ 2.8	+4.5	1.0	+3.8	
置賜地区										
		▲ 3.0	▲ 16.1	0.0	▲ 5.8	▲ 3.9	▲ 3.3	+0.6	19.8	+23.1
	製造業	11.1	2.5	1.9	▲ 1.8	3.7	13.4	+9.7	30.3	+16.9
非製造業	▲ 19.2	▲ 35.0	▲ 2.1	▲ 10.8	▲ 12.7	▲ 19.1	-6.4	10.4	+29.5	
西部地区										
		3.6	▲ 8.6	▲ 11.1	0.0	▲ 14.5	5.0	+19.5	6.6	+1.6
	製造業	37.9	20.0	▲ 14.8	3.9	▲ 9.6	12.1	+21.7	21.2	+9.1
非製造業	▲ 34.7	▲ 40.9	▲ 7.4	▲ 3.7	▲ 20.9	▲ 3.7	+17.2	▲ 11.1	-7.4	
北部地区										
		16.5	15.6	13.7	0.0	▲ 1.9	▲ 17.6	-15.7	▲ 12.8	+4.8
	製造業	31.1	17.5	12.0	0.0	0.0	▲ 34.0	-34.0	▲ 24.0	+10.0
非製造業	2.2	13.9	15.5	0.0	▲ 3.7	▲ 2.0	+1.7	▲ 1.9	+0.1	
庄内地区										
		▲ 1.2	▲ 6.1	1.3	9.6	▲ 3.5	▲ 2.5	+1.0	▲ 2.5	±0.0
	製造業	14.3	4.2	13.3	30.0	10.4	7.7	-2.7	7.7	±0.0
非製造業	▲ 8.6	▲ 11.9	▲ 6.1	▲ 1.9	▲ 10.7	▲ 7.6	+3.1	▲ 7.5	+0.1	

## 2. 売上高BSI <前年同期比>

～「増加超」を維持したものの、製造業を中心に足元では低下～



### (1) 全産業ベースの動向

売上高 BSI<前年同期比>は、前回調査に比べ-3.8ポイントの7.2となり、2期ぶりに低下。これは、2022年1-3月(2.9)以来の低水準となっている。内訳をみると、増加回答割合は前回よりもわずかに上昇したものの、それを上回って減少回答割合が上昇している。コスト上昇に伴う販売価格の改定が徐々に進展し、売上増となる企業が増える半面、海外経済の減速から、外需に影響されやすい機械関連の製造業の売上が伸び悩んだことなどが反映されたと考えられる。業況判断 BSI と売上高 BSI のギャップ(業況判断 BSI-売上高 BSI)は▲13.5で、前回比では縮小したが、依然大きな開きがある。

2023年4-6月の予想については、今回調査比+1.9ポイントの9.1で、再び上昇する見込みとなっている。

### (2) 業種別の動向

業種別に売上高 BSI をみると、製造業は前回比-7.9ポイントの11.6で4期ぶりの低下、非製造業は同-0.3ポイントの4.1となった。

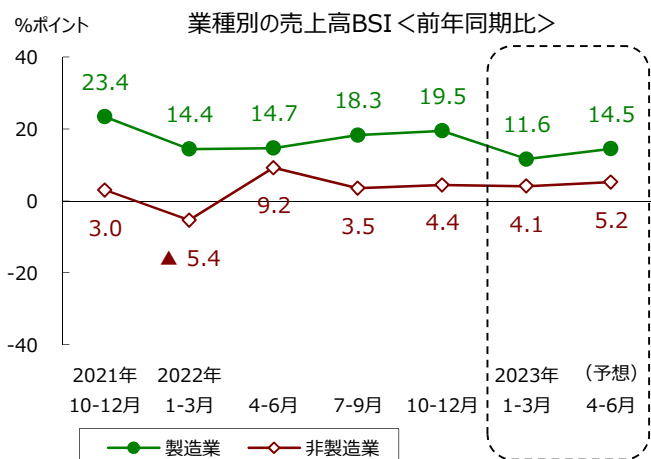
#### ① 製造業

前回比では9業種中3業種が上昇、6業種が低下しており、機械関連を中心に低下業種が多くなった。

#### ② 非製造業

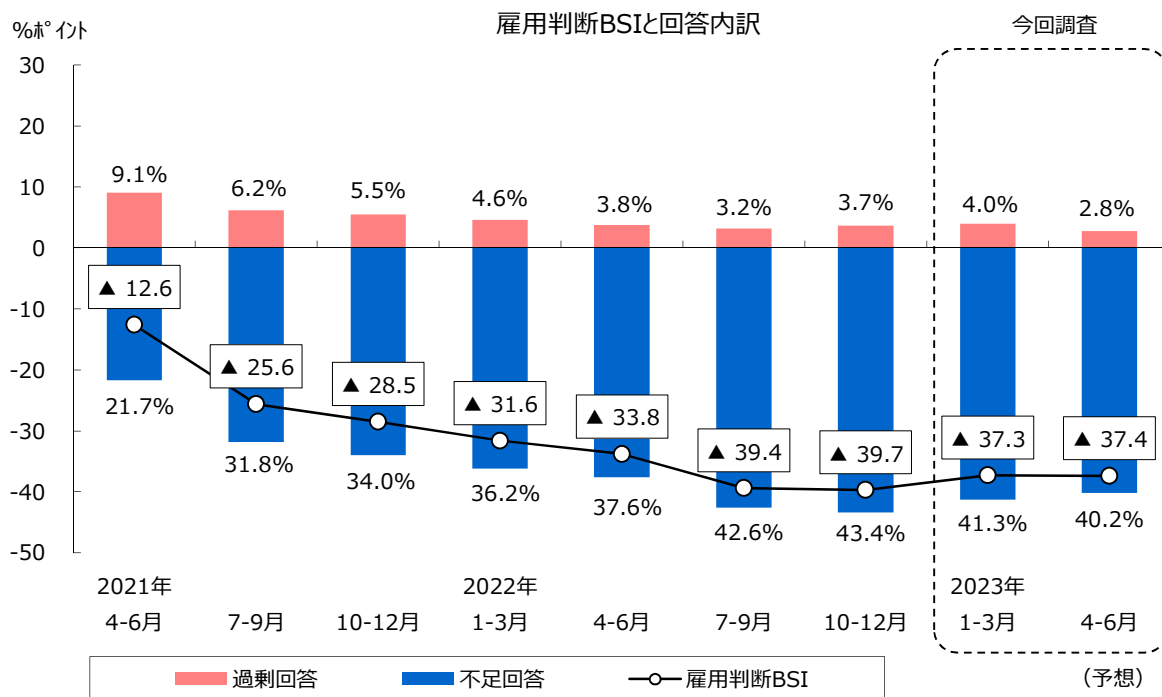
前回比では6業種中3業種が低下、3業種が上昇で、全体では横ばいに近い動きとなった。

2023年4-6月の予想は、製造業が今回調査比+2.9ポイントの14.5、非製造業は同+1.1ポイントの5.2で、いずれも上昇予想となった。



### 3. 雇用判断BSI

～人手不足感はわずかに緩和し、2年ぶりに上昇～



#### (1) 全産業ベースの動向

従業員数の水準(パート・アルバイト等を含む)については、「多い」とする企業の割合が4.0%、「適正」が54.7%、「少ない」が41.3%で、雇用判断BSIは前回は+2.4ポイントの▲37.3となった。依然として人手不足感が非常に強い状況にあるものの、雇用判断BSIは2021年1-3月以来2年ぶりに上昇した形となっている。

こうしたなか、2023年4-6月の予想については、今回調査比-0.1ポイントの▲37.4で、ほぼ横ばいに近い推移となる見込み。

#### (2) 業種別の動向

業種別にみると、製造業は前回は+1.7ポイントの▲29.6で3期ぶりに上昇。非製造業は同+3.6ポイントの▲42.7で、2期連続の上昇となっている。

##### ① 製造業

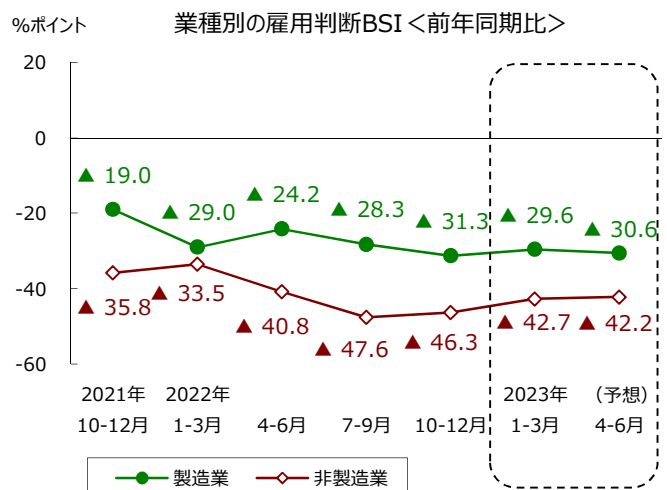
前回は9業種中3業種が低下、6業種が上昇したが、依然として全業種が「不足超」となっている。なお、今回調査で業況判断BSIが大

きく低下した一般機械については、雇用判断BSIが低下する動きとなっている。

##### ② 非製造業

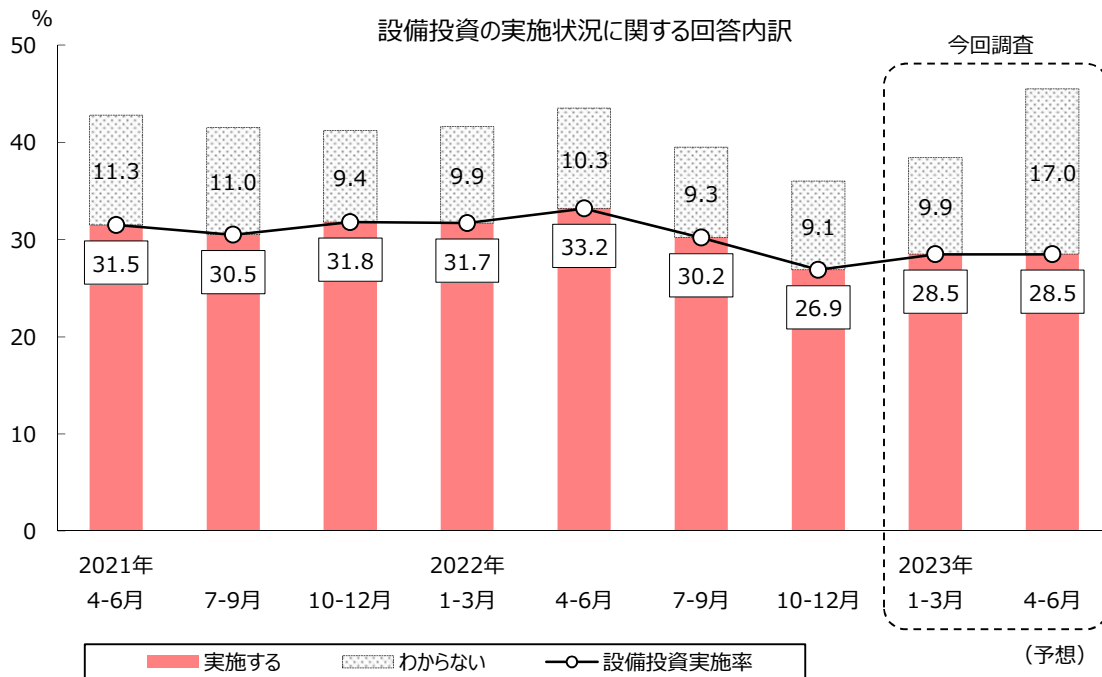
前回は6業種中2業種が低下、4業種が上昇したが、依然として全業種が「不足超」となっている。前回調査で突出してBSIが低かった旅館・ホテル、飲食業も上昇に転じた。

2023年4-6月の予想については、製造業が今回調査比-1.0ポイントの▲30.6、非製造業が同+0.5ポイントの▲42.2となっている。



## 4. 設備投資実施率

～低水準ながら持ち直し、先行きはさらに上昇見込み～



### (1) 全産業ベースの動向

2023年1-3月に生産・営業用設備への投資を実施するかどうかについてたずねたところ、「実施する」との回答割合(設備投資実施率)は前回比+1.6ポイントの28.5%で、3期ぶりに上昇した。ただし、前回調査(2022年10-12月、26.9%)を除けば、2021年1-3月(27.3%)以来2年ぶりの低水準にとどまっている。コスト上昇による収益への下押しが強いことなどを背景に、非製造業を中心として設備投資の持ち直しの動きに一服感が広がっている。

2023年4-6月の予想については、設備投資実施率は今回調査比横ばいの28.5%となっている。例年年度初めで実施率が上昇する時期でもあり、今後さらに上方修正されていくものとみられる。

### (2) 業種別の動向

業種別にみると、製造業は前回比+3.8ポイントの34.5%で2期ぶりに上昇し、比較的高い水準に復帰した。非製造業は、同+0.2ポイントの24.2%と3期ぶりに上昇したが、ほぼ横ばいに近い動きで、依然として低水準となっ

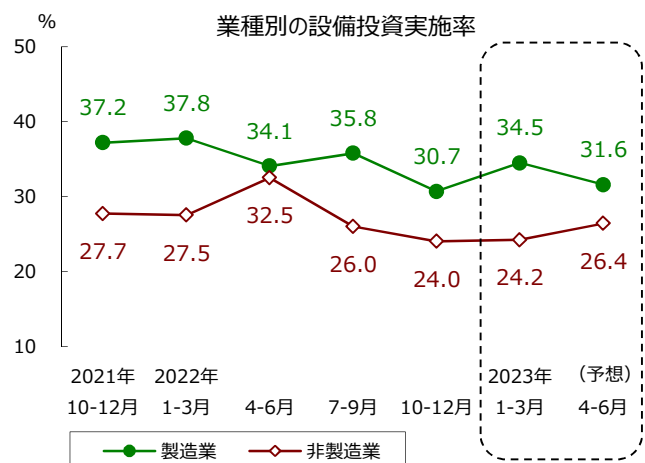
ている。

#### ① 製造業

繊維・衣服が50.0%で前回調査に引き続き最も高くなっており、次いで電気機械が48.0%、輸送機械が42.9%となった。

#### ② 非製造業

運輸業が60.0%で最も高くなったが、以下は旅館・ホテル、飲食業が26.7%、サービス業・その他が25.0%と低水準にとどまった。



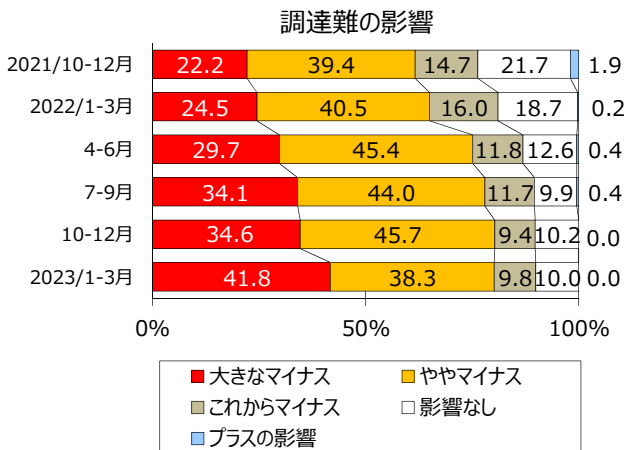


## 5. 新型コロナウイルスや調達難の影響

～コロナ禍の悪影響は大きく減退し、「影響なし」が4割に～

### (1) 調達難による影響度合い

2023年1-3月において、様々な調達難が業況に影響を与えているかどうかたずねたところ、全体では「大きなマイナスの影響がある」が41.8%、「ややマイナスの影響がある」が38.3%、「あまり影響はないが、これからマイナスの影響が出る可能性がある」が9.8%、「あまり影響はない」が10.0%となった。マイナスの影響があるとする割合(「大きなマイナス」+「ややマイナス」)は80.1%で、前回(80.3%)に比べてわずかに低下したものの、「大きなマイナスの影響がある」の割合に限ってみれば、4割を超える水準まで特に大きく上昇した。

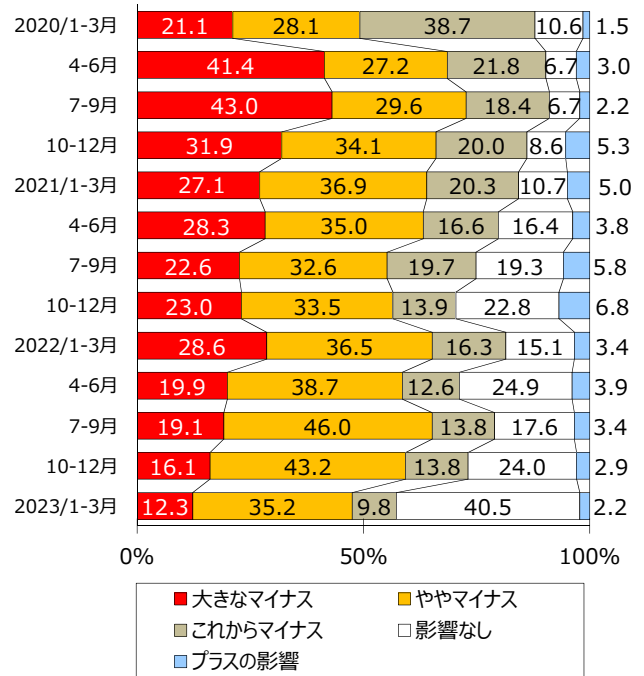


### (2) 新型コロナウイルス感染拡大の影響

2023年1-3月において、新型コロナウイルスの感染拡大が業況に影響を与えているかどうかたずねたところ、「大きなマイナスの影響がある」が12.3%、「ややマイナスの影響がある」が35.2%、「あまり影響はないが、これからマイナスの影響が出る可能性がある」が9.8%、「あまり影響はない」が40.5%、「マイナスもあるが、全体としてはプラスの影響が大きい」が2.2%となった。

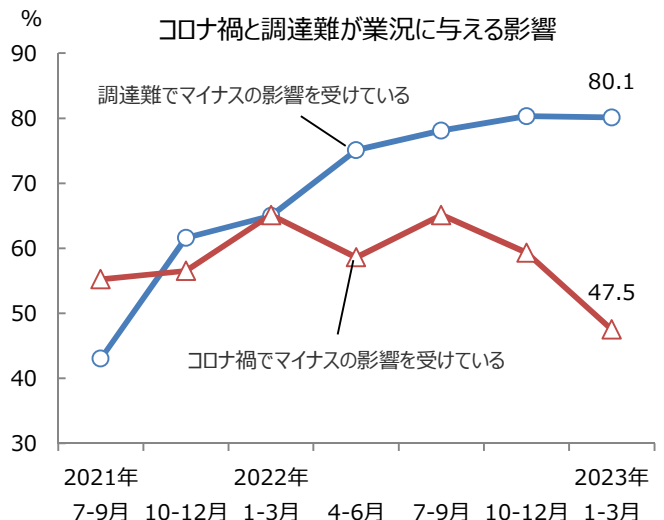
マイナスの影響があるとする割合(「大きなマイナス」+「ややマイナス」)は47.5%で、2020年1-3月の調査開始以来の最低水準となった。一方で、「あまり影響はない」がこれに

新型コロナウイルスが業況に与える影響



迫る水準まで急上昇しており、1月以降国内第8波となる感染拡大が収束方向に向かったことなどをうけて、コロナ禍の影響は大きく減退している。

なお、前出の調達難が業況に与える影響と比較すると、コロナ禍によるマイナスの影響が47.5%、調達難によるマイナスの影響は80.1%で、コロナ禍による悪影響を受ける割合を、調達難が4期連続で大きく上回っている。



## 参考：業種別総括表

2023年1-3月

業種	時期 集計社数	業況判断 BSI		売上高 BSI		雇用判断 BSI		設備投資実施率 (%)	
		前回比		前回比		前回比		前回比	
全産業	495	▲ 6.3	-0.2	7.2	-3.8	▲ 37.3	+2.4	28.5	+1.6
		1.9	+8.2	9.1	+1.9	▲ 37.4	-0.1	28.5	±0.0
製造業	206	▲ 6.3	-4.5	11.6	-7.9	▲ 29.6	+1.7	34.5	+3.8
		5.5	+11.8	14.5	+2.9	▲ 30.6	-1.0	31.6	-2.9
食料品・飲料	38	0.0	+15.4	31.5	+18.7	▲ 23.6	+14.8	36.8	+3.5
		28.9	+28.9	36.8	+5.3	▲ 34.2	-10.6	36.8	±0.0
繊維・衣服	12	33.3	+16.6	41.6	-0.1	▲ 33.4	+12.1	50.0	+8.3
		33.3	±0.0	50.0	+8.4	▲ 33.3	+0.1	33.3	-16.7
木材・家具	14	▲ 28.6	-8.6	▲ 7.1	-13.8	▲ 50.0	-30.0	28.6	+8.6
		▲ 28.6	±0.0	▲ 7.2	-0.1	▲ 50.0	±0.0	28.6	±0.0
窯業・土石	10	10.0	+30.0	20.0	+20.0	▲ 20.0	-10.0	40.0	+10.0
		▲ 10.0	-20.0	30.0	+10.0	▲ 30.0	-10.0	20.0	-20.0
鉄鋼・金属	22	18.2	-29.4	31.8	-30.1	▲ 40.9	+6.7	31.8	-1.5
		9.5	-8.7	9.1	-22.7	▲ 41.0	-0.1	36.4	+4.6
電気機械	25	▲ 8.0	+2.3	▲ 4.0	-14.4	▲ 20.0	+4.1	48.0	+17.0
		▲ 16.0	-8.0	▲ 16.0	-12.0	▲ 24.0	-4.0	36.0	-12.0
一般機械	38	▲ 23.7	-26.0	▲ 21.0	-38.8	▲ 34.2	-9.8	26.3	-0.4
		▲ 5.6	+18.1	▲ 13.2	+7.8	▲ 29.0	+5.2	18.4	-7.9
輸送機械	14	0.0	-7.2	28.5	+35.7	▲ 42.9	+7.1	42.9	+14.3
		21.5	+21.5	50.0	+21.5	▲ 35.7	+7.2	35.7	-7.2
その他製造業	33	▲ 21.2	-7.4	12.2	-14.4	▲ 18.2	+8.5	24.2	-9.1
		6.3	+27.5	24.2	+12.0	▲ 15.1	+3.1	36.4	+12.2
非製造業	289	▲ 6.3	+3.1	4.1	-0.3	▲ 42.7	+3.6	24.2	+0.2
		▲ 0.6	+5.7	5.2	+1.1	▲ 42.2	+0.5	26.4	+2.2
建設業・不動産業	89	▲ 22.5	+5.0	▲ 14.6	+4.1	▲ 49.5	+2.1	23.6	+6.0
		▲ 2.2	+20.3	▲ 6.7	+7.9	▲ 48.3	+1.2	21.3	-2.3
運輸業	15	13.3	-10.3	0.0	-47.0	▲ 60.0	-7.1	60.0	+7.1
		26.6	+13.3	20.0	+20.0	▲ 60.0	±0.0	60.0	±0.0
卸売業	71	7.2	+21.3	15.5	+12.3	▲ 31.4	+6.1	16.9	+4.4
		1.4	-5.8	12.7	-2.8	▲ 36.6	-5.2	14.1	-2.8
小売業	51	▲ 9.8	-0.5	9.8	-6.5	▲ 35.3	-3.5	23.5	-3.8
		▲ 11.8	-2.0	7.8	-2.0	▲ 31.4	+3.9	33.3	+9.8
旅館・ホテル、飲食業	15	40.0	-6.7	53.4	+0.1	▲ 46.7	+26.6	26.7	-20.0
		26.7	-13.3	40.0	-13.4	▲ 40.0	+6.7	26.7	±0.0
サービス業・その他	48	▲ 12.5	-14.6	2.1	-6.3	▲ 47.9	+2.1	25.0	-6.3
		▲ 6.2	+6.3	▲ 2.1	-4.2	▲ 45.8	+2.1	36.2	+11.2

上段…2023年1-3月、下段…2023年4-6月予想